村政のここが聞きたい！

議会議員の現状はいかに！！

総務課長

成り手不足は幅広い協働による対策が必要！

議会議員の成り手不足及び
議員に係る負担等について

野口勝則 議員

問 議会議員の一般選挙及び補欠選挙において、無投票や定数割れなど過去の選挙結果はいかがですか。

答 把握している平成5年以降では、平成17年と平成29年の一般選挙と令和2年と今回の補欠選挙が無投票で、選挙をしても定数割れになったのは今回が初めてです。

問 定数割れの要因、及び議員の成り手不足による村に与える影響をどのように捉えていますか。

答 人口減少、少子高齢化過疎化等といった我が国の構造的な問題に加え、地域の担い手の減少による立候補への足踏み、立候補への家族の理解、議員のやりがいや待遇等、複雑かつ多岐にわたると考えられます。また村に与える影響については、チェック機能の低下、将来的には地方自治や民主主義の危機につながる問題であると考えます。

問 近年の無投票の選挙結果を踏まえ、近隣自治体では議員定数削減の動きが見受けられます。本村でもこれまで定数削減を行ってきましたが、削減の経緯と現在の定数についての村の見解はいかがですか。

答 定数削減については、平成13年の選挙から14人から12人に、平成17年の選挙から10人に、平成21年から8人に削減し現在に至っており、経費の節減及び行政改革の推進、村財政に寄与することを目的として議決されています。現在の定数については、議員が少ないことによって意見が偏りやすくなるなど、これ以上の削減は結果的に村全体の利益が下がると考えられます。

問 本村議員の報酬額は現在月額17万1千円で県内最低の金額ですが、報酬額の推移及び成り手不足を踏まえた報酬額についての村の見解はいかがですか。

答 平成7年1月から、それまで18万円だった報酬額を19万2千円に、平成9年1月から20万1千円に増額し、平成14年4月からは19万1千円に、平成15年12月から19万円に、平成17年4月から17万1千円に減額し現在に至っています。物価の上昇を考えるとしかるべき時期に報酬については見直しが必要と考えます。議員の成り手不足については議会の取組に加え、幅広い協働による対策が必要と考えます。

～次回定例会の予定～

3月6日（木）
午前１０時開会予定です。

東秩父村議会 HP　　会議録検索

東秩父村議会についてもっと詳しく知りたい方は、こちらの QR コードから東秩父村議会 HP 及び会議録検索をご覧ください。

【傍聴に行こう！】

１２月定例会の傍聴者数は、延べ１０人でした。
どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。